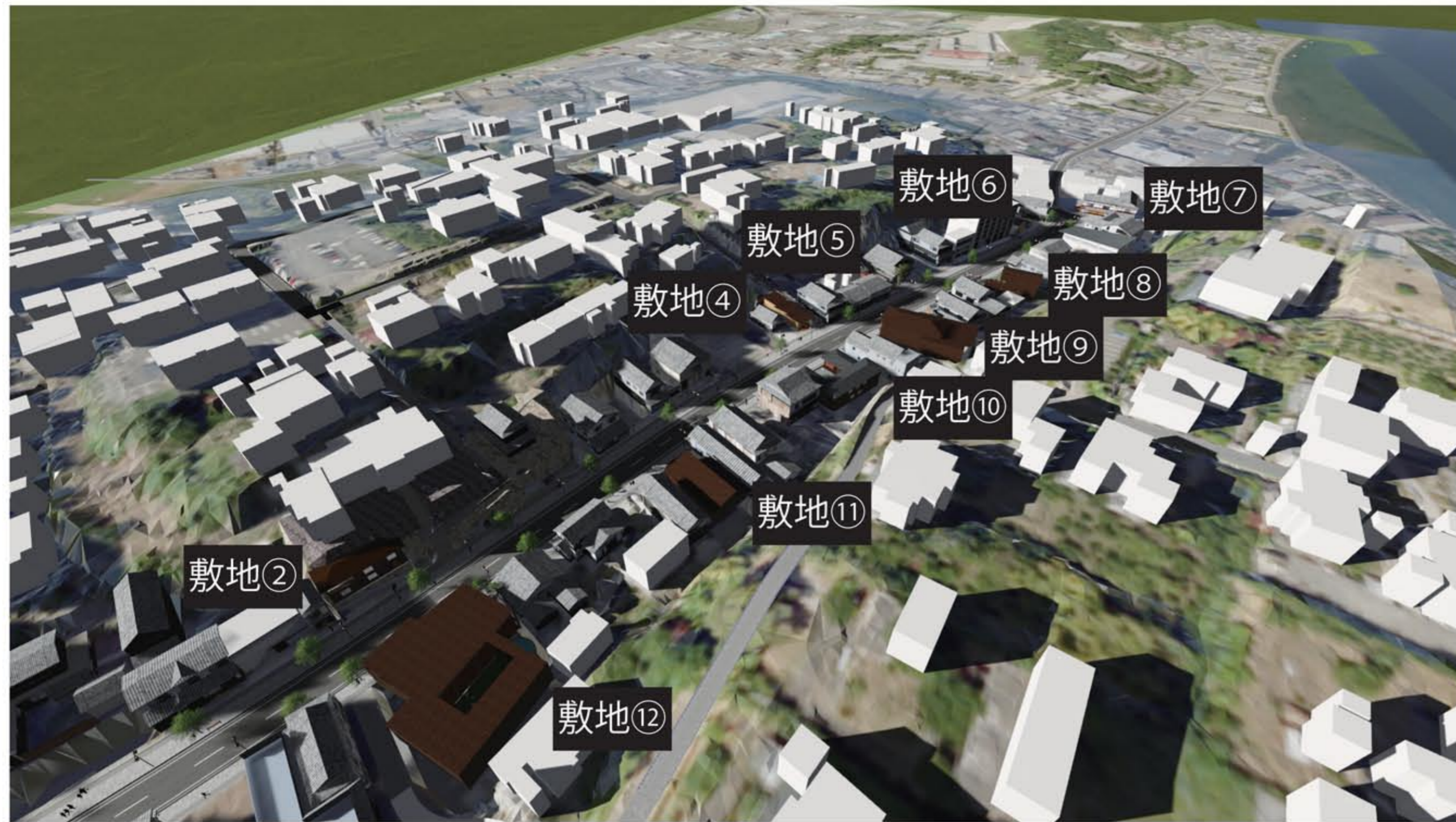


Architectural Environment Design Lab.



～昼と夜で変わる杵築市～

AEDLは城下町としてのイメージを損なうことなく、昼と夜で印象の違うまちなみを提案した。

昼は城下町の景観に合わせ「和」を重視した。

夜はLED照明を用いた空間演出によるまちづくりを重視した。

～賑わいのあるまちへ～

観光客を集める交流施設や展示施設により杵築市を知ってもらい、日本のみならず世界からも訪れるようなまちを目指す。結婚式が行えるイベント会場により地域全体が笑顔になり活気あるまちづくりのための場を提案した。

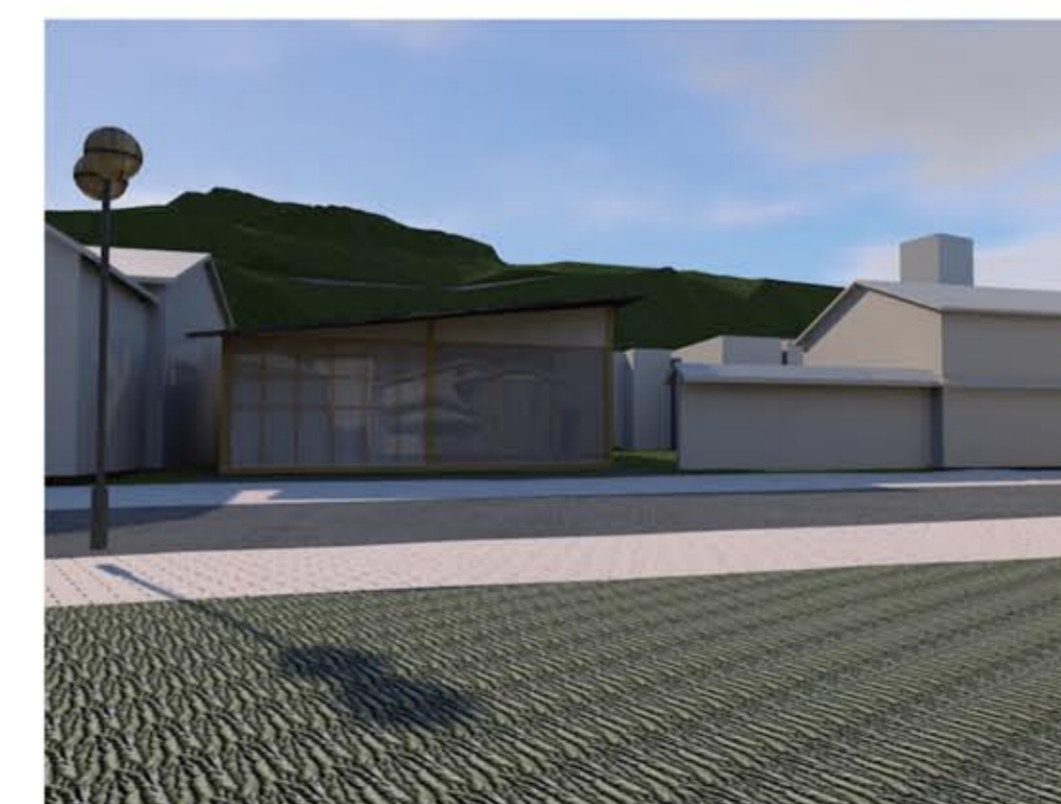


敷地⑨ 学習・交流施設 寺子屋ルーム

敷地の起伏が激しいため段差を連続的に設け、少しずつ登っていく設計とした。太陽の光を取り込むことができ室内の照明や外灯などにより光あふれる空間とした。

敷地⑩⑪ 可变店舗・チャレンジショップ (上図:⑩ 下図:⑪)

特産物の販売や休憩所など地域住民の憩いとなる場となるように設計した。武家屋敷をイメージし、中庭には日本庭園を中心としたなごみのある空間とした。屋外テラスでの飲食も楽しむことができる。



敷地⑫ 短期宿泊・滞在支援施設

木のルーバーは夜の照明によって落ちる影を楽しめるように、角度をつけた。またあえてまちなみと同じファサードを避けて、歩いていて「おっ？」と目につくような外観を意識して設計した。

敷地⑥⑦ 展示施設

山車を収納するこの展示施設と収納庫は、建物に入ってから山車を見るのではなく、通りを歩いてても外から山車が見えるように設計した。



敷地⑤ 足湯施設

山口県の湯田温泉をイメージ。足湯を楽しむのみならず、話したり、お茶を飲んだりと着物を着ても楽しめる足湯を提案した。

敷地④ 店舗 (カフェ)

寺子屋と同じく敷地に傾斜があるため敷地のレベルに合わせて段差を設けた。また奥に行くほど天井高を上げ、開放的な空間となるようにした。

敷地⑧ イベント会場

杵築市の着物で結婚式を行うことができるような雰囲気のある式場を設計した。また普段は年間多々ある行事のイベント会場として利用できる。